

☆ 水ビジネス 後れ取る日本

信毎セミナー

○：「高い技術がありながら、世界の水インフラビジネスで負けている」。水資源問題のコンサルタント会社、グローバルウォーター・ジャパン（千葉県習志野市）の吉村和就代表は、日本が上下水道整備などの海外展開で取り残されていると指摘した＝写真。



世界が水不足に直面する現状を商機と捉え、成功している他国の事例を紹介。「フランスの企業は国際展開で1億3900万人に給水し、韓国は国家プロジェクトで水企業を育成している」と述べた。

日本の水道技術は漏水の少なさなどで世界一だが「技術だけで勝てる」と過信し、国策も不在」と指摘。「相手国のニーズを徹底して調べ、政府が交渉に乗り出す必要がある」とした。
(16日・佐久市)